

令和6年 7月 12日	
担当課 (担当者)	感染症対策センター (衛生環境研究所) (福田、最首)
電話	0858-35-5411

鳥取県感染症流行情報

第27週 [令和6年7月1日(月)～7月7日(日)]

<主な定点把握対象感染症>

疾 病 名	東 部	中 部	西 部
インフルエンザ	△	×	×
感染性胃腸炎	○	△	△
水痘(水ぼうそう)	◎	△	△
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	×	◎	×
手足口病	★	★	★
ヘルパンギーナ(夏かぜ)	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	○	◎	◎
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	★	★	★
流行性角結膜炎	×	×	×
マイコプラズマ肺炎	×	×	×
伝染性紅斑	×	×	×
RSウイルス感染症	◎	×	○

★ 警報発令中
◎ 流行している ○ やや流行している
△ 散発 × 患者発生極少又はなし

<新型コロナウイルス感染症>

地 区	東 部	中 部	西 部	合 計	全国(第27週)
患者数(人)	64	16	88	168	
定点当たり患者数	5.33	2.67	8.00	5.79	8.07
流行情報	—	—	—		

注意レベル： 定点当たり 10 人/週 (今後の感染拡大に注意が必要と考えられる段階)
警戒レベル： 定点当たり 20 人/週 (感染者数の加速度的な増大のおそれがある段階)

【コメント】

- 1 手足口病警報が発令中です。全地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。特に東部地区では急増しており、過去最も多かった 2019 年に匹敵する増加状況となっています。今後、さらに流行が拡大するおそれがあるので、注意が必要です。
- 2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。全地区で再び患者報告数が増加し、流行しています。引き続き注意が必要です。
- 3 ヘルパンギーナは、全地区で患者報告数が増加し、流行しています。特に中部地区では急増し警報レベルに達しており、注意が必要です。

- 4 新型コロナウイルス感染症は、全地区で患者報告数が増加しています。臨時休業及び集団発生事例も報告されており、注意が必要です。
- 5 咽頭結膜熱は、中部及び西部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 6 水痘は、東部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 7 流行性耳下腺炎は、中部地区で患者報告がありました。
- 8 R S ウイルス感染症は、西部地区で患者報告数が増加し、東部地区で流行しています。
- 9 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20 件を目途に報告数が多い疾病）；
 - ・新型コロナウイルス感染症（168 件）
 - ・手足口病（127 件）
 - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（119 件）
 - ・感染性胃腸炎（73 件）
 - ・ヘルパンギーナ（48 件）
 - ・R S ウイルス感染症（38 件）
 - ・咽頭結膜熱（25 件）
 - ・水痘（6 件）

【お知らせ】

- 手足口病警報が発令です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。

病名	特徴	予防のポイント	
		個別事項	共通事項
手足口病	口腔粘膜および手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性のウイルス感染症で、幼児を中心に夏季に流行が見られます。	・流行時に手指の消毒を励行しましょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・特に流行時には手洗いをしっかりしましょう。 ・症状があった場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱と咽頭痛、発疹等の症状がみられる細菌による感染症です。まれに重症化することもあり、小児だけでなく成人でも発症します。	・咳エチケットを心がけましょう。	
ヘルパンギーナ	発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に夏季に流行する夏かぜの代表的疾患です。	・流行時に手指の消毒を励行しましょう。	
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状を主症状とする新型コロナウイルスの感染によって起こる感染症です。頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等を呈する場合もあります。ご高齢の方、基礎疾患を持つ方は重症化するリスクがあります。	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用などに心がけ、特に高齢者と接する場合は、体調を整えるようにしましょう。 ・重症化リスクの高い方は、近接した会話や混雑した場所を避けることが有効です。 ・感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、指示に従って受診しましょう。 	

咽頭結膜熱	アデノウイルスの感染により、発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状をきたす、小児に多い感染症です。	・感染者との密接な接触は避けましょう（タオルなどは個人用としましょう）。	
水痘	水痘帯状疱疹ウイルスの感染により、水疱（水ぶくれ）、発熱といった症状をきたす、小児に多い感染症です。	・定期接種等でのワクチンによる予防が有効です。	
流行性耳下腺炎	強い感染力をもったムンプスウイルスによる感染症で、唾液腺（耳下腺など）の腫れ、圧痛、嚙下痛、発熱がみられます。	・集団生活に入る前にワクチンで予防しておくことが有効です。	
RSウイルス感染症	RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、年齢を問わず感染し、特に乳幼児期において重症な症状を引き起こします。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に触れるおもちゃ、手すりなどはこまめにアルコールや塩素系の消毒剤等で消毒しましょう。 ・咳エチケットを心がけましょう。 	

※咳エチケット：咳、くしゃみが出る場合には、ティッシュ、ハンカチなどで鼻や口を押さえ飛沫を飛ばさないようにすること

鳥取県感染症発生動向調査情報（週報）

第27週 [令和6年7月1日(月)～7日(日)]

(地区別)

令和6年7月11日 作成

(件)

	東 部		中 部		西 部		合 計			県内1定点当		全国1					
	27週	前週比	27週	前週比	27週	前週比	27週	26週	前週比	27週	26週	27週					
インフルエンザ/COVID-19定点数										12		6	11		29		
1	インフルエンザ		3	—	0	—	1	—	4	0	—	0.14	0.00	0.28			
2	新型コロナウイルス感染症		64	320%	16	200%	88	157%	168	84	200%	5.79	2.90	8.07			
小児科定点数										8		4	7		19		
3	咽頭結膜熱		2	40%	7	140%	16	200%	25	18	139%	1.32	0.95	0.67			
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		59	109%	30	143%	30	167%	119	93	128%	6.26	4.89	3.41			
5	感染性胃腸炎		43	123%	10	83%	20	71%	73	75	97%	3.84	3.95	3.95			
6	水痘		4	200%	1	25%	1	—	6	6	100%	0.32	0.32	0.23			
7	手足口病		102	249%	19	158%	6	150%	127	57	223%	6.68	3.00	11.46			
8	伝染性紅斑		0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.10			
9	突発性発疹		3	150%	0	0%	3	150%	6	7	86%	0.32	0.37	0.30			
10	ヘルパンギーナ		10	1000%	24	141%	14	175%	48	26	185%	2.53	1.37	2.15			
11	流行性耳下腺炎		0	0%	1	—	0	0%	1	2	50%	0.05	0.11	0.07			
12	RSウイルス感染症		23	77%	0	0%	15	107%	38	46	83%	2.00	2.42	1.61			
眼科定点数										2		1	2		5		
13	急性出血性結膜炎		0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.03			
14	流行性角結膜炎		1	100%	0	—	0	0%	1	2	50%	0.20	0.40	0.63			
基幹定点数										2		1	2		5		
15	細菌性髄膜炎		1	—	0	—	0	0%	1	1	100%	0.20	0.20	0.02			
16	無菌性髄膜炎		0	0%	0	—	0	—	0	1	0%	0.00	0.20	0.02			
17	マイコプラズマ肺炎		1	—	0	—	0	—	1	0	—	0.20	0.00	0.49			
18	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.00			
19	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)		0	—	0	—	0	—	0	0	—	0.00	0.00	0.01			
合 計			316	183%	108	142%	194	228%	618	418	148%						

※中部の19の件数は、5の再掲(基幹定点が小児科定点と共通のため)。

第27週の感染症発生動向調査情報について

- 手足口病警報が発令中です。全地区で患者報告数が増加し、東部及び中部地区で流行しています。特に東部地区では急増しており過去最も多かった2019年に匹敵する増加状況となっています。今後、さらに流行が拡大するおそれがあるので、注意が必要です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報が発令中です。全地区で再び患者報告数が増加し、流行しています。引き続き注意が必要です。
- ヘルパンギーナは、全地区で患者報告数が増加し、流行しています。特に中部地区では急増し警報レベルに達しており、注意が必要です。
- 新型コロナウイルス感染症は、全地区で患者報告数が増加しています。臨時休業及び集団発生事例も報告されており、注意が必要です。
- 咽頭結膜熱は、中部及び西部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 水痘は、東部地区で患者報告数が増加し、流行しています。
- 流行性耳下腺炎は、中部地区で患者報告がありました。
- RSウイルス感染症は、西部地区で患者報告数が増加し、東部地区で流行しています。
- 定点における患者報告数（「流行している」と判定された疾病または、20件を目途に報告数が多い疾病）；
 - ・新型コロナウイルス感染症（168件）
 - ・手足口病（127件）
 - ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（119件）
 - ・感染性胃腸炎（73件）
 - ・ヘルパンギーナ（48件）
 - ・RSウイルス感染症（38件）
 - ・咽頭結膜熱（25件）
 - ・水痘（6件）

週別患者報告数および定点当り患者数 (令和6年第19週 ~ 令和6年第27週)

区 分		今週 27週	26週	25週	24週	23週	22週	21週	20週	19週	令和6年 累計
1	インフルエンザ 1定点当り患者報告数(件)	4 0.14	0 0.00	1 0.03	0 0.00	1 0.03	3 0.10	13 0.45	30 1.03	9 0.31	4,782 6.11
2	新型コロナウイルス感染症 1定点当り患者報告数(件)	168 5.79	84 2.90	80 2.76	73 2.52	78 2.69	69 2.38	108 3.72	84 2.90	81 2.79	4,914 6.28
3	咽頭結膜熱 1定点当り患者報告数(件)	25 1.32	18 0.95	33 1.74	25 1.32	25 1.32	52 2.74	36 1.89	26 1.37	23 1.21	604 1.18
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1定点当り患者報告数(件)	119 6.26	93 4.89	147 7.74	142 7.47	185 9.74	205 10.79	241 12.68	203 10.68	151 7.95	3,905 7.61
5	感染性胃腸炎 1定点当り患者報告数(件)	73 3.84	75 3.95	82 4.32	63 3.32	106 5.58	96 5.05	115 6.05	125 6.58	97 5.11	2,910 5.67
6	水痘 1定点当り患者報告数(件)	6 0.32	6 0.32	6 0.32	12 0.63	4 0.21	5 0.26	5 0.26	4 0.21	1 0.05	84 0.16
7	手足口病 1定点当り患者報告数(件)	127 6.68	57 3.00	38 2.00	29 1.53	14 0.74	19 1.00	18 0.95	10 0.53	2 0.11	352 0.69
8	伝染性紅斑 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.05	0 0.00	3 0.01
9	突発性発疹 1定点当り患者報告数(件)	6 0.32	7 0.37	2 0.11	6 0.32	5 0.26	4 0.21	8 0.42	5 0.26	4 0.21	111 0.22
10	ヘルパンギーナ 1定点当り患者報告数(件)	48 2.53	26 1.37	20 1.05	19 1.00	20 1.05	13 0.68	11 0.58	4 0.21	2 0.11	170 0.33
11	流行性耳下腺炎 1定点当り患者報告数(件)	1 0.05	2 0.11	0 0.00	0 0.00	1 0.05	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	12 0.02
12	RSウイルス感染症 1定点当り患者報告数(件)	38 2.00	46 2.42	63 3.32	33 1.74	32 1.68	34 1.79	33 1.74	16 0.84	15 0.79	353 0.69
13	急性出血性結膜炎 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01
14	流行性角結膜炎 1定点当り患者報告数(件)	1 0.20	2 0.40	1 0.20	0 0.00	0 0.00	1 0.20	1 0.20	1 0.20	2 0.40	27 0.20
15	細菌性髄膜炎 1定点当り患者報告数(件)	1 0.20	1 0.20	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	8 0.06
16	無菌性髄膜炎 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	1 0.20	0 0.00	1 0.20	1 0.20	2 0.40	0 0.00	0 0.00	0 0.00	12 0.09
17	マイコプラズマ肺炎 1定点当り患者報告数(件)	1 0.20	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.01
18	クラミジア肺炎(オウム病を除く) 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.01
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。) 1定点当り患者報告数(件)	0 0.00	0 0.00	1 0.20	2 0.40	1 0.20	2 0.40	1 0.20	2 0.40	0 0.00	10 0.07
合 計		450	334	394	333	395	436	482	427	306	13,347

注: 累計欄の定点当たり患者報告数は1定点1週当たり患者報告数。

年齢別内訳

第27週 [令和6年7月1日(月)～7日(日)]

疾病名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上
咽頭結膜熱	25	0	1	5	4	4	3	3	1	0	1	1	2	0	0
定点对当り発生割合(件)	1.32	0.00	0.05	0.26	0.21	0.21	0.16	0.16	0.05	0.00	0.05	0.05	0.11	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	119	0	2	8	11	14	16	15	9	2	8	8	17	4	5
定点对当り発生割合(件)	6.26	0.00	0.11	0.42	0.58	0.74	0.84	0.79	0.47	0.11	0.42	0.42	0.89	0.21	0.26
感染性胃腸炎	73	1	10	14	7	3	10	3	4	3	6	4	5	0	3
定点对当り発生割合(件)	3.84	0.05	0.53	0.74	0.37	0.16	0.53	0.16	0.21	0.16	0.32	0.21	0.26	0.00	0.16
水痘	6	0	0	0	3	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0
定点对当り発生割合(件)	0.32	0.00	0.00	0.00	0.16	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00
手足口病	127	2	9	56	19	23	10	5	2	0	0	0	1	0	0
定点对当り発生割合(件)	6.68	0.11	0.47	2.95	1.00	1.21	0.53	0.26	0.11	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点对当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発疹	6	0	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点对当り発生割合(件)	0.32	0.00	0.05	0.16	0.05	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	48	0	2	10	5	11	8	5	3	2	0	1	1	0	0
定点对当り発生割合(件)	2.53	0.00	0.11	0.53	0.26	0.58	0.42	0.26	0.16	0.11	0.00	0.05	0.05	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
定点对当り発生割合(件)	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス感染症	38	2	7	15	7	4	1	0	1	0	1	0	0	0	0
定点对当り発生割合(件)	2.00	0.11	0.37	0.79	0.37	0.21	0.05	0.00	0.05	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00

※小児科定点数は19定数

年齢別内訳

第27週 [令和6年7月1日(月)～7日(日)]

疾病名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
インフルエンザ	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
定点对当り発生割合(件)	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03
新型コロナウイルス感染症	168	1	0	7	0	2	1	0	2	0	0	0	13	9	16	11	18	26	16	10	10	36
定点对当り発生割合(件)	5.79	0.03	0.00	0.24	0.00	0.07	0.03	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.45	0.31	0.55	0.38	0.62	0.90	0.55	0.34	0.34	1.24

※インフルエンザ/COVID-19定点数は29定点点

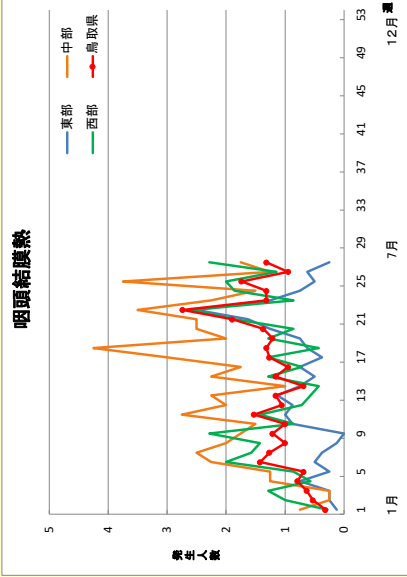
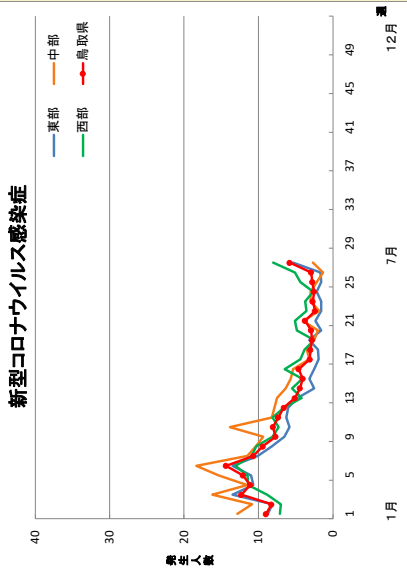
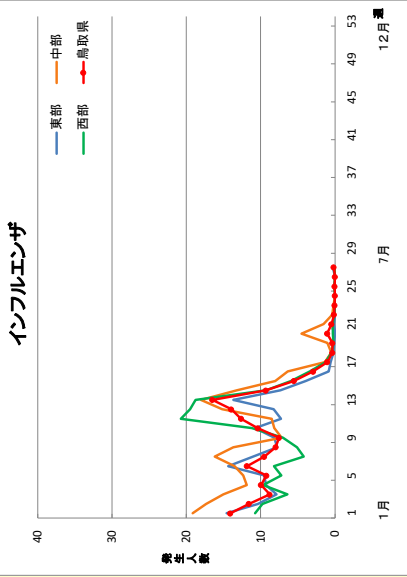
疾病名	合計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点对当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
定点对当り発生割合(件)	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00

※眼科定点数は5定点点

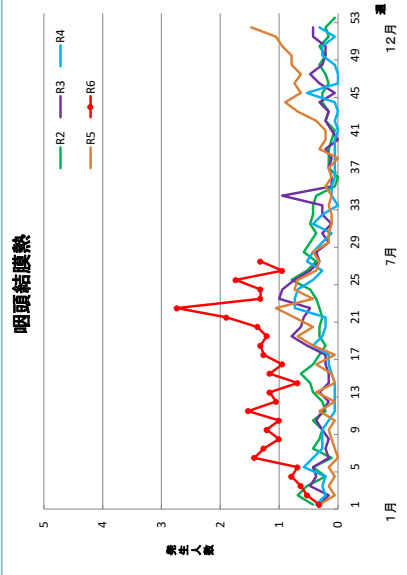
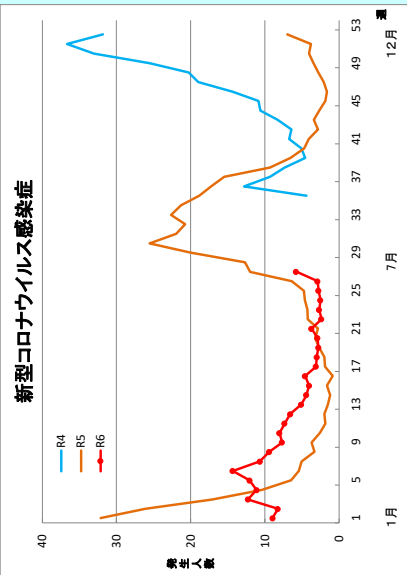
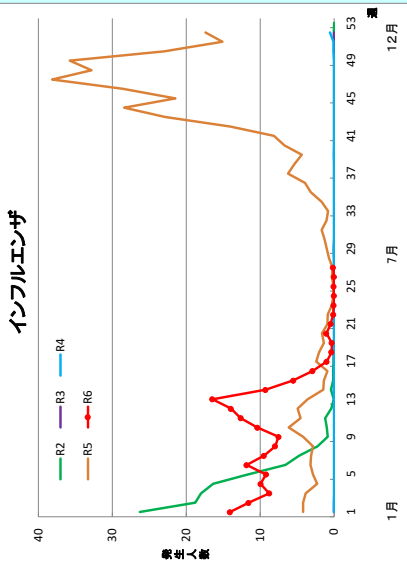
疾病名	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
定点对当り発生割合(件)	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点对当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点对当り発生割合(件)	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎 <small>(オウム病を除く)</small>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点对当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 <small>(病原体がロタウイルスであるものに限る。)</small>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
定点对当り発生割合(件)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※基幹定点数は5定点点

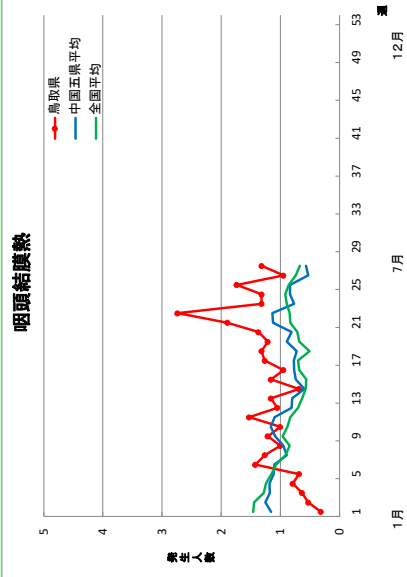
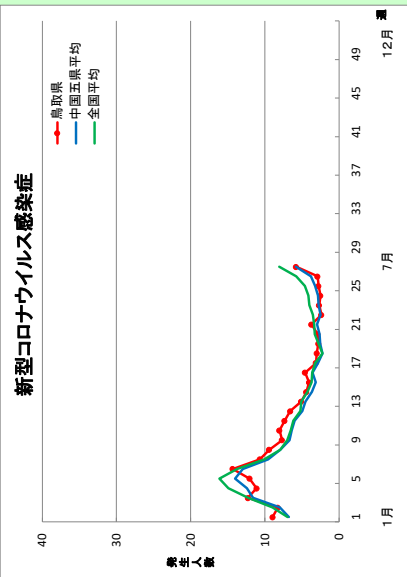
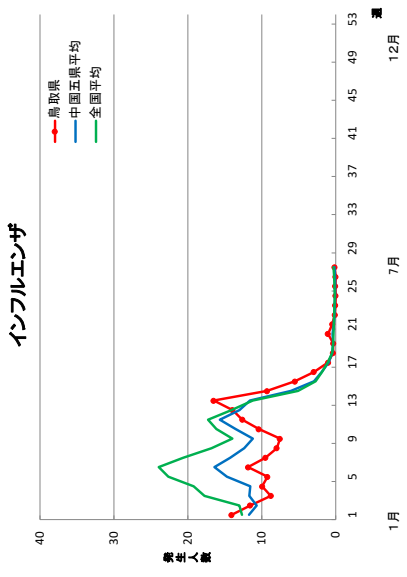
地区発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)

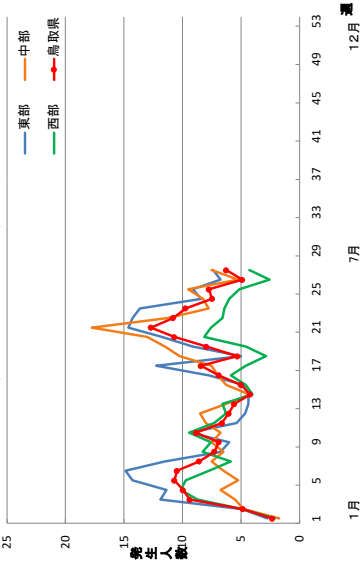


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

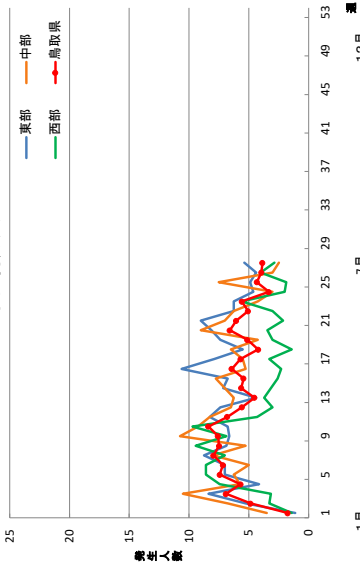


地区発生状況グラフ(定点当たり)

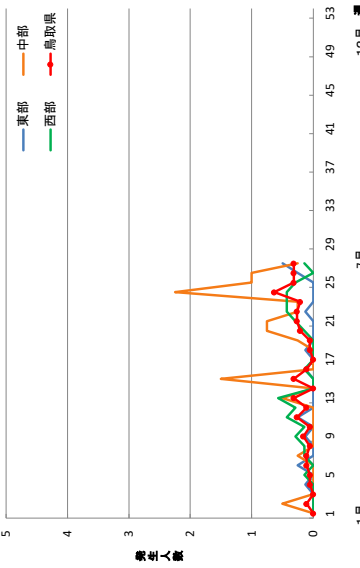
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

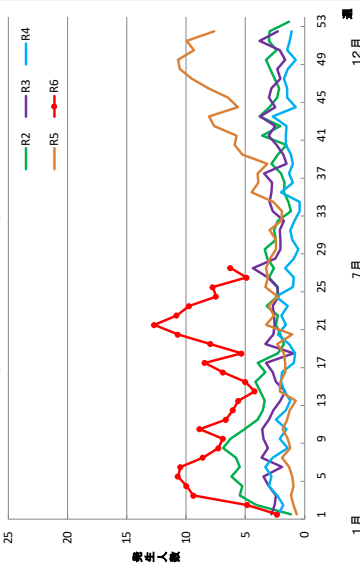


水痘

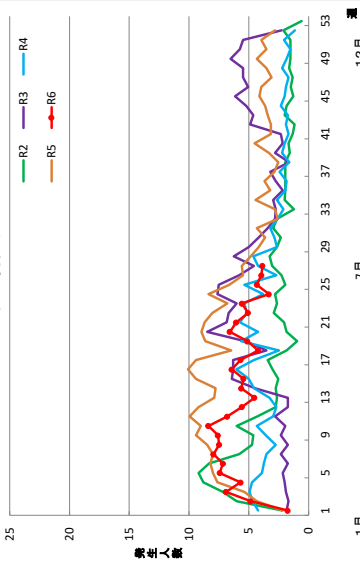


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

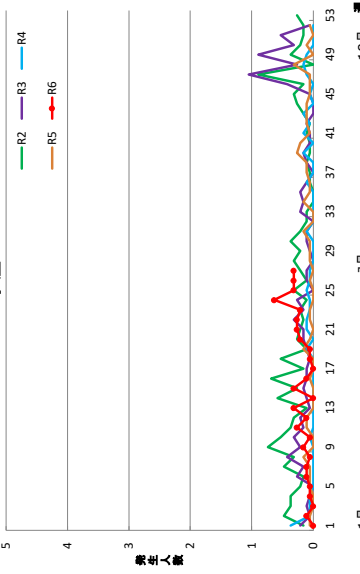
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

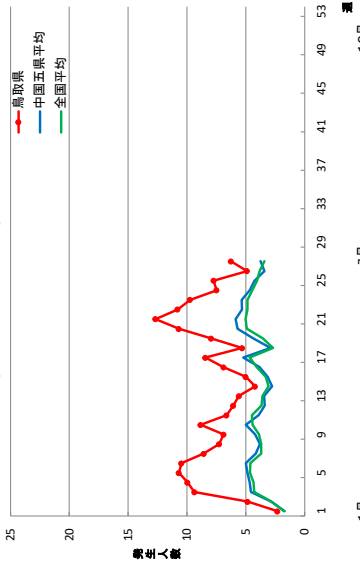


水痘

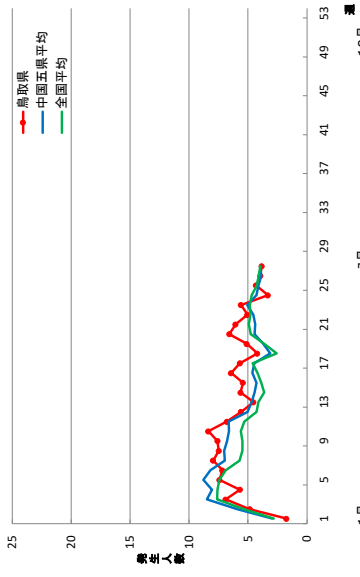


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

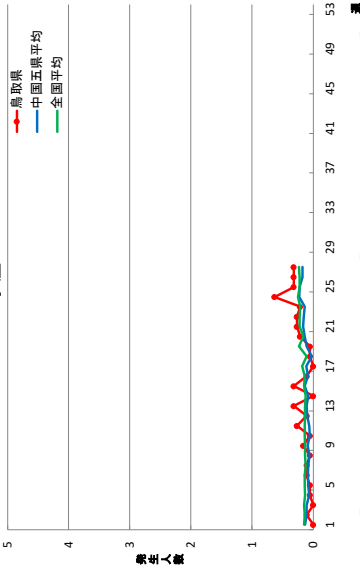
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



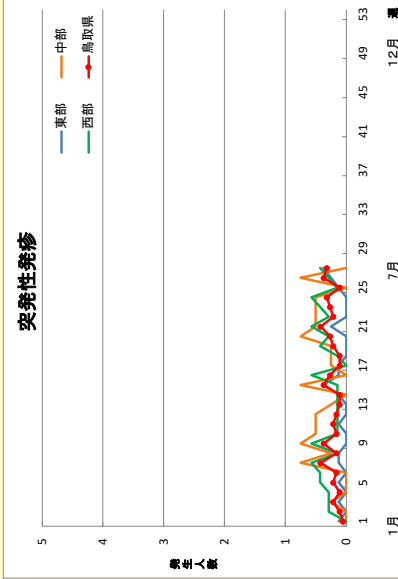
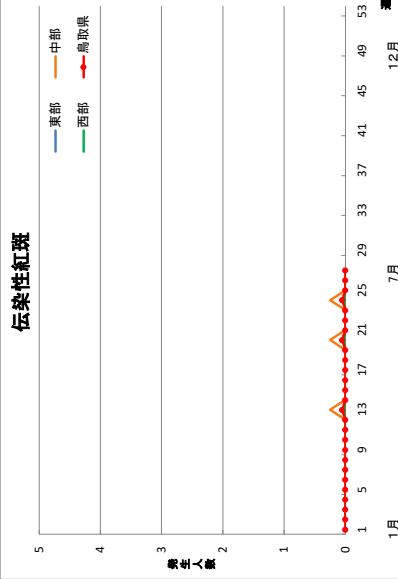
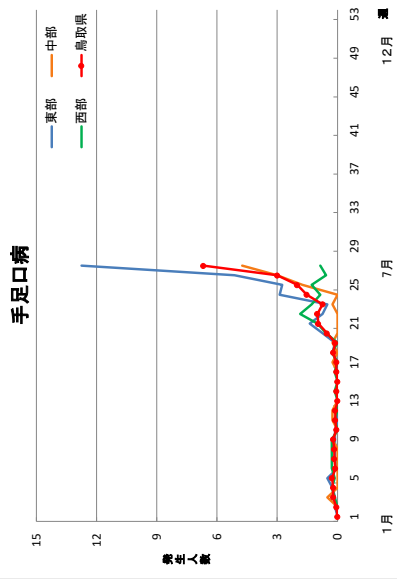
感染性胃腸炎



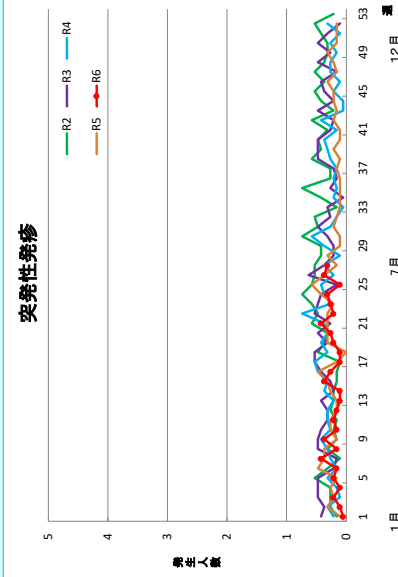
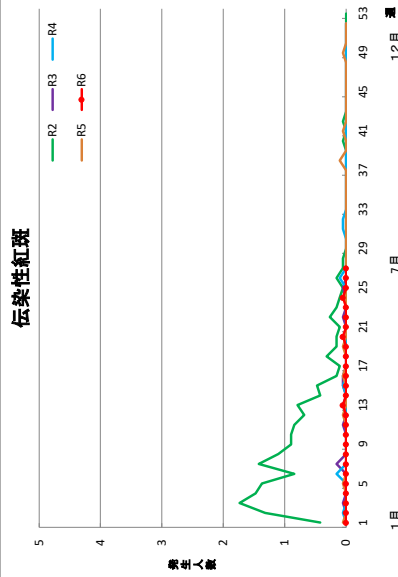
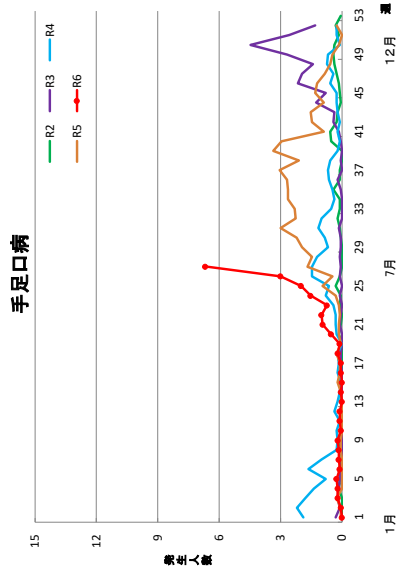
水痘



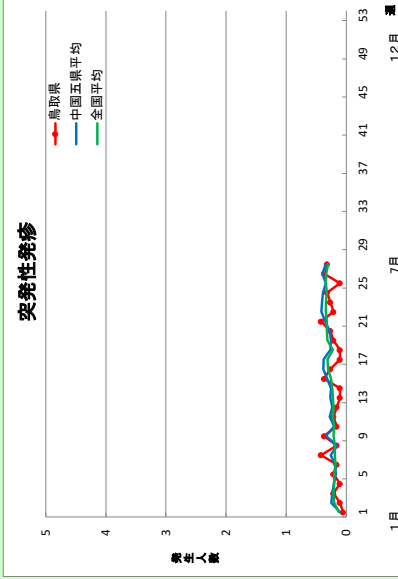
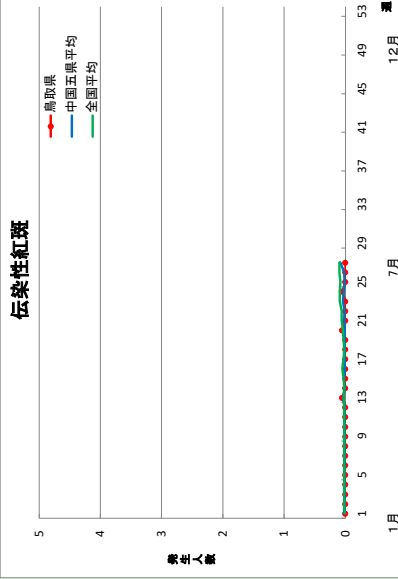
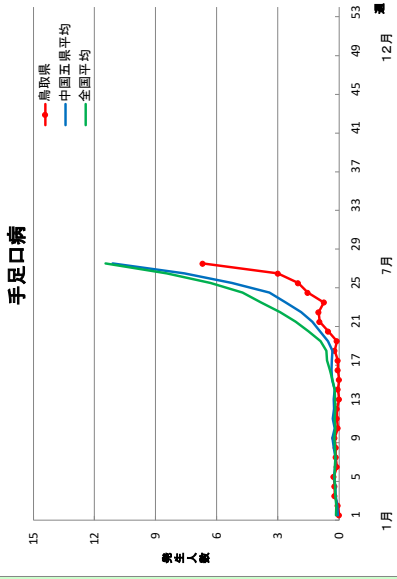
地区発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)

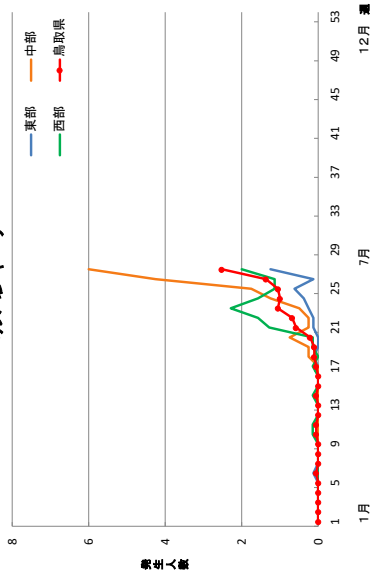


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

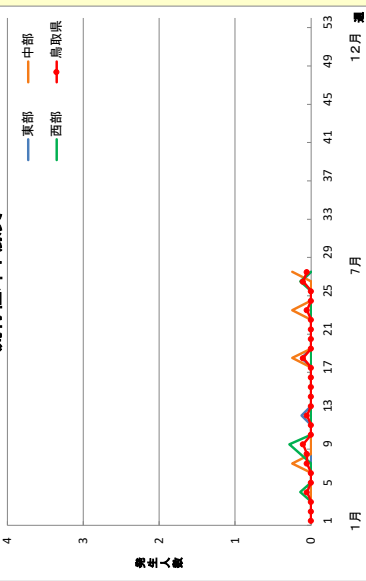


地区発生状況グラフ(定点当たり)

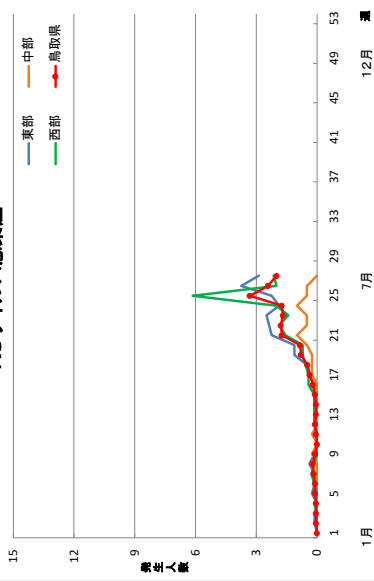
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

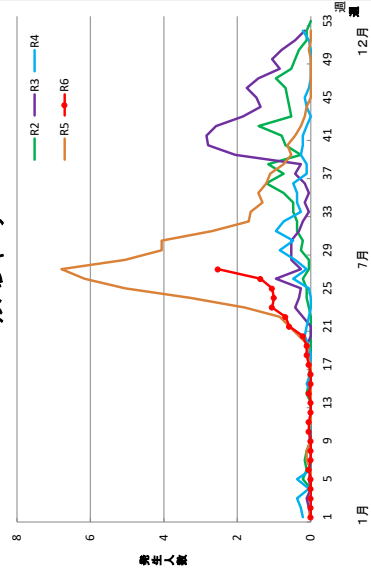


RSウイルス感染症

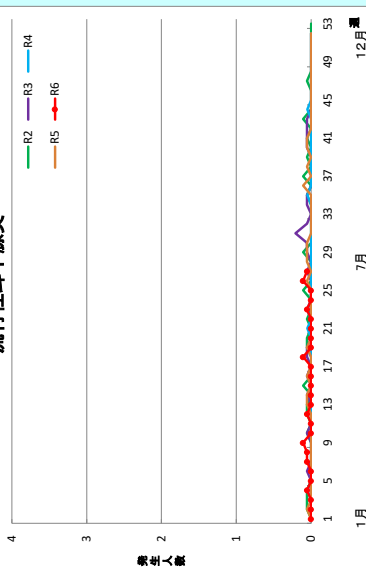


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

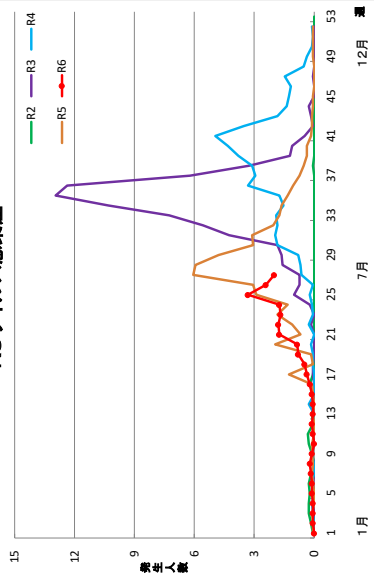
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

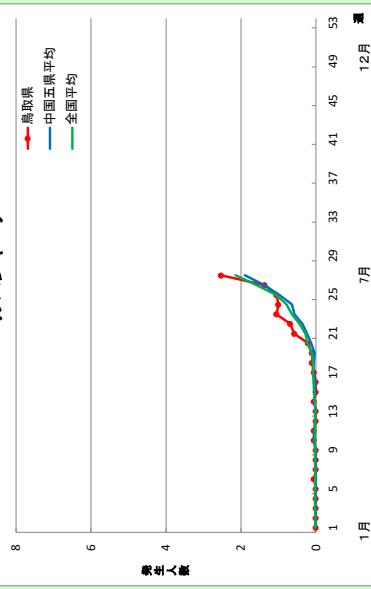


RSウイルス感染症

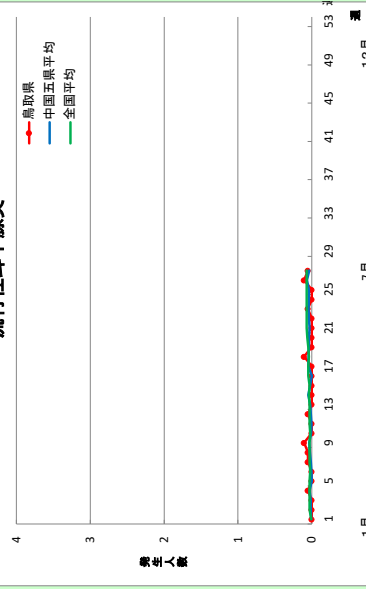


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

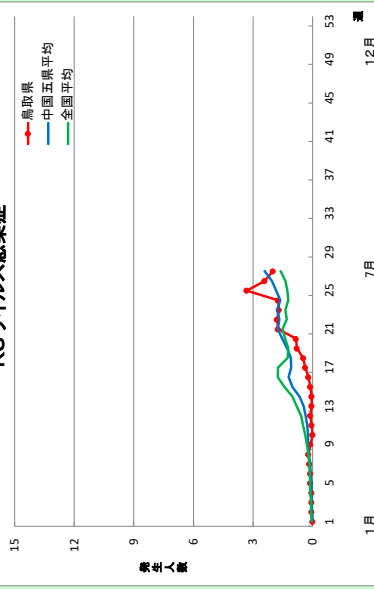
ヘルパンギーナ



流行性耳下腺炎

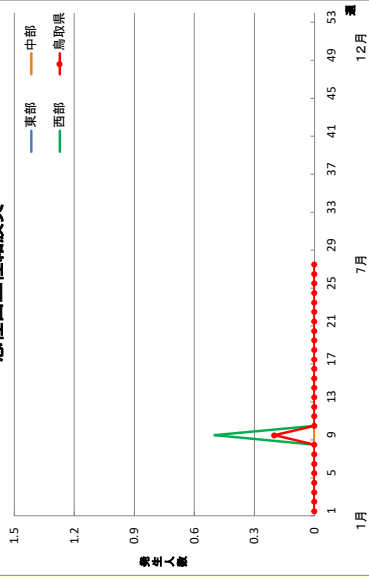


RSウイルス感染症

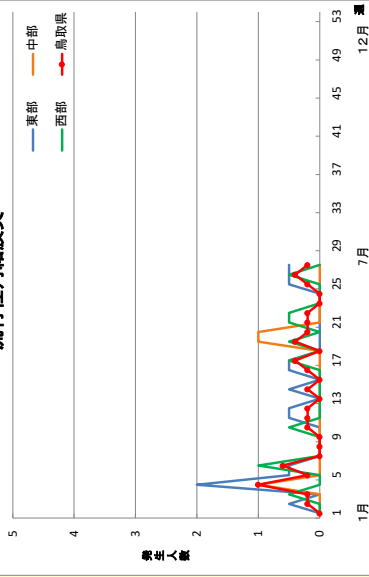


地区発生状況グラフ(定点当たり)

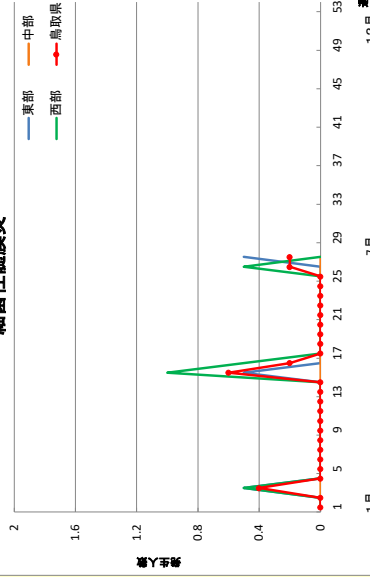
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

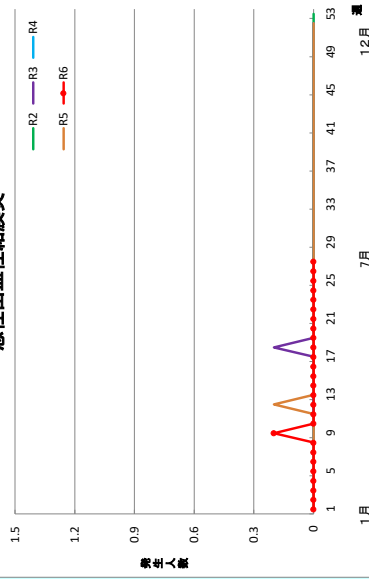


細菌性髄膜炎

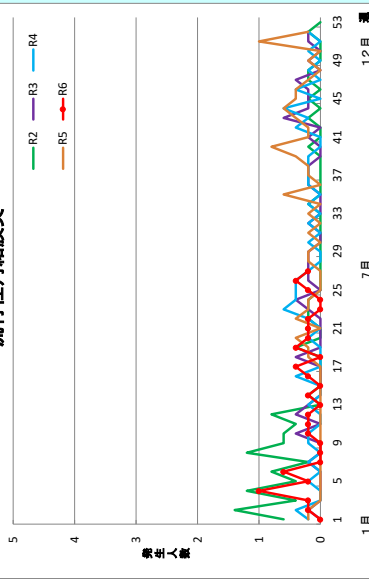


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

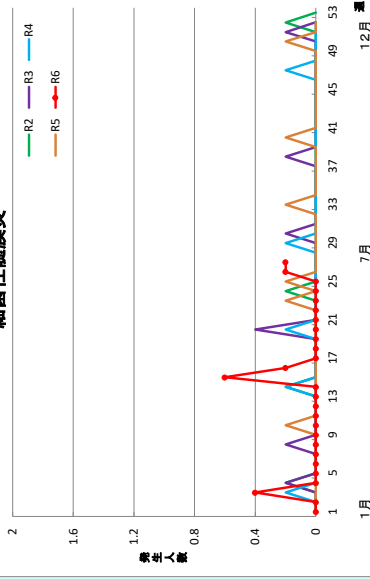
急性出血性結膜炎



流行性角結膜炎

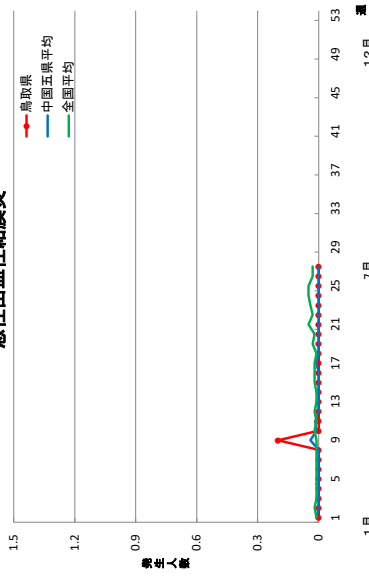


細菌性髄膜炎

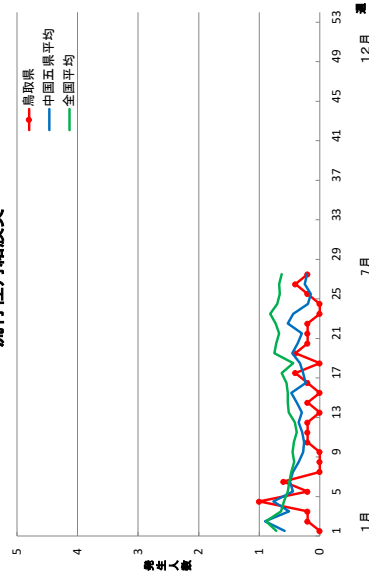


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

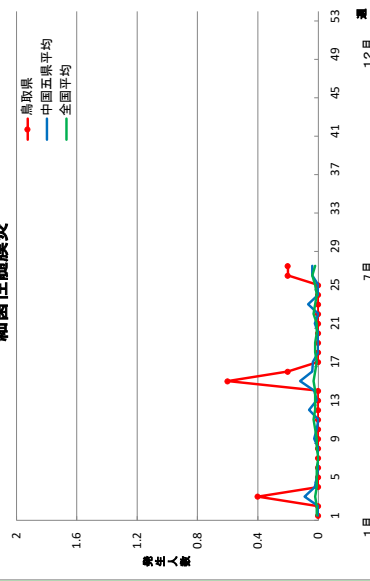
急性出血性結膜炎



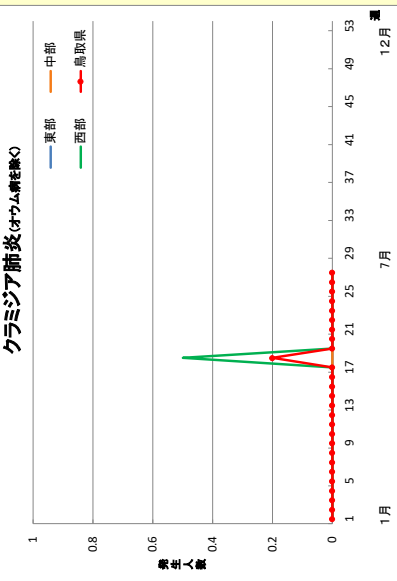
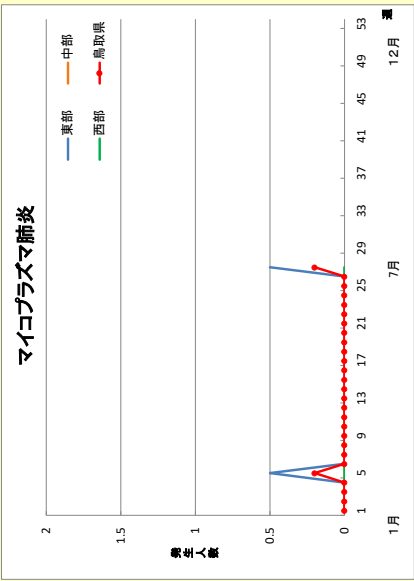
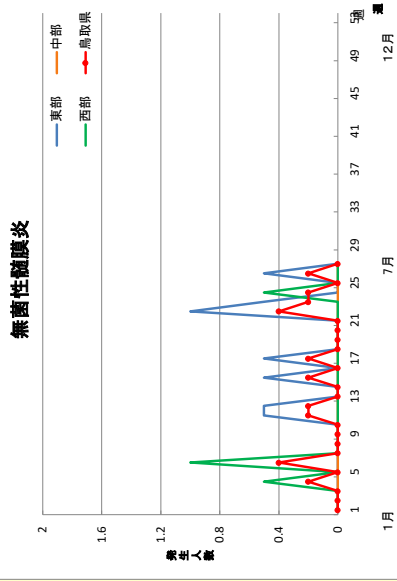
流行性角結膜炎



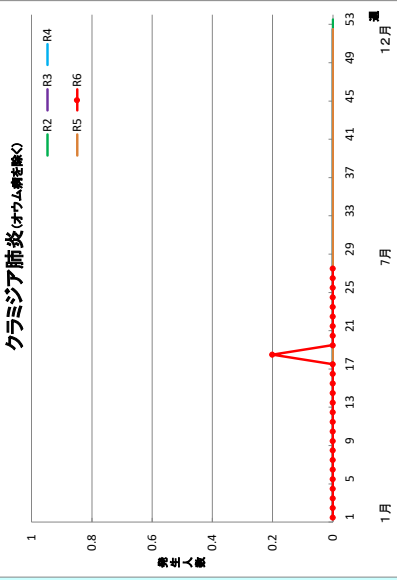
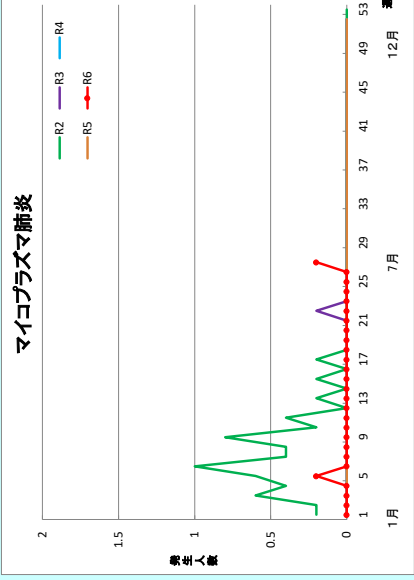
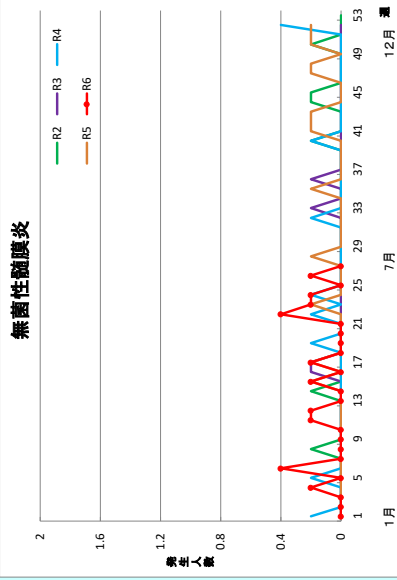
細菌性髄膜炎



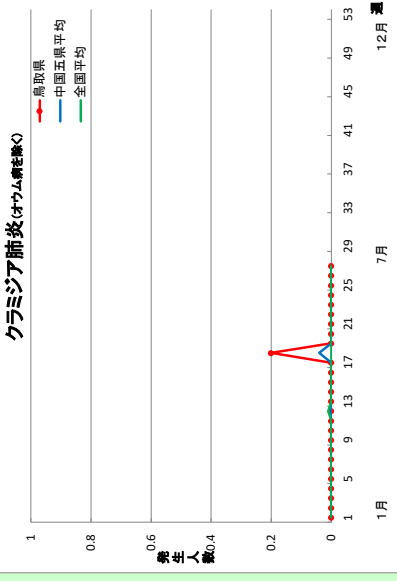
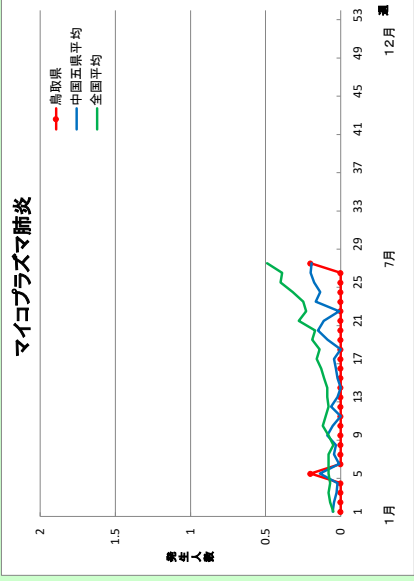
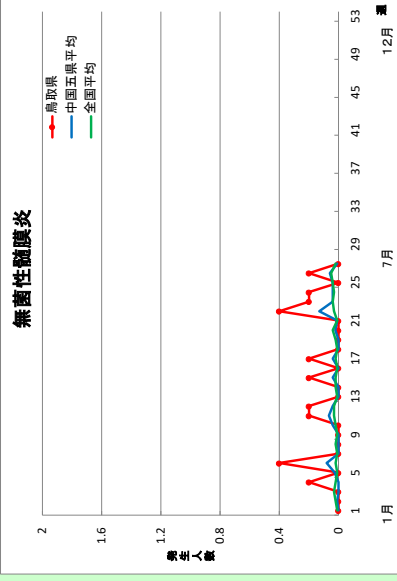
地区発生状況グラフ(定点当たり)



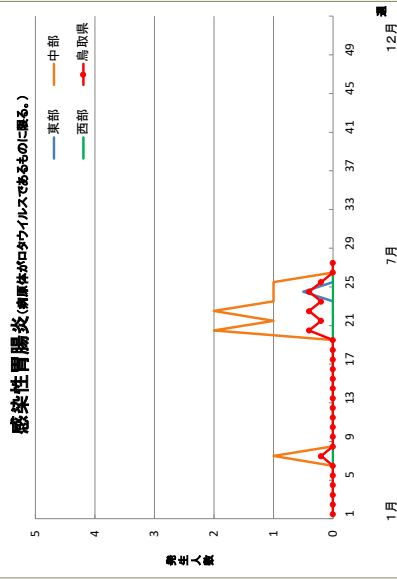
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



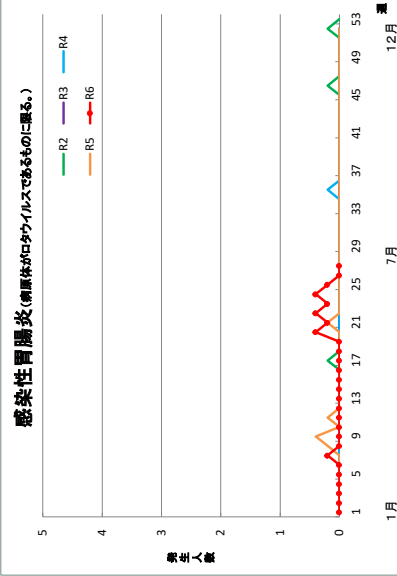
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



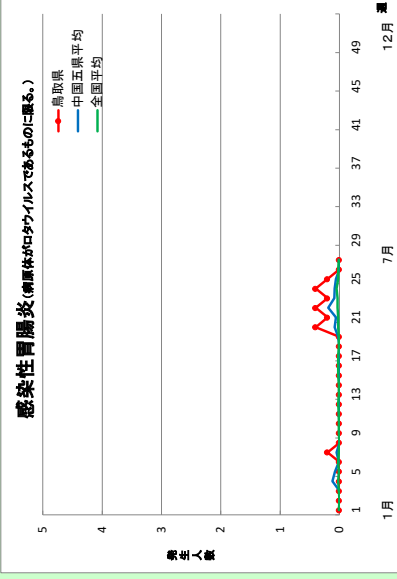
地区発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)



中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



注) 新型コロナウイルス感染症は、令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。